

Volume 24  
February 2006

2

# **JAPAN REGION**

目 次  
Table of Contents

今期のテーマ .....	2005—2006 Themes	1
日本リージョン会長挨拶 .....	The President's Message	2
日本リージョン役員からのお知らせ .....	News from Japan Region Board	3
飛躍するカウンスル .....	Reports from Council	4
クラブ記念例会・式典の案内 .....	Invitation to Club Anniversary Meetings	12
第24期日本リージョン年次大会ご案内 .....	Invitation to the 24th Japan Region Annual Conference	13
大会プログラム予定表 .....	Annual Conference Program Plan	14
プログラムのご案内 .....	Guide to Programs	15
大会観光スポット紹介 .....	Information for Sightseeing	17
大会申込要項 .....	Registration	18
登録・食事・宿泊申込書 .....	Registration & Reservation Forms	19
大会準備委員会名簿 .....	Annual Conference Committee	21
インフォメーション .....	Information	22
訂正及び編集後記 .....	Correction and Message from Editor	裏背表紙
I T C 宣誓及び声明文 .....	ITC Pledge • Mission Statement of Japan Region	裏表紙

# I T C 日本リージョン第24期テーマ

2005—2006

Japan Region Theme

## 変化 そして 飛躍

### “Change and Leap”

日本リージョン会長

泉 和子



### I T C テーマ

## “Lift up your Life . . . and SOAR”

### 自らを高め、そして飛躍しましょう！

I T C 国際会長  
Terrie Baxter



ディビジョンIV副会長  
Margaret Sutherland



## 第24期日本リージョン会長挨拶

---

### さらなる変化を求めて

第24期 I T C 日本リージョン会長 泉 和子

新年の幕が開き、第24期日本リージョンもこれからいよいよ後半に入ります。今期2度目のリージョン会長を務めている私は、4年前の第20期日本リージョンとはかなりの違いがあると感じながらこの上半期を過ごしました。その一つは、何故か、かえって今期の方が以前より物事が煩雑になったのではないかと感じるのです。それは、皆様もご承知のように、世の中の多様化が大いに影響していると思います。その多様化に対応してゆくには、会の運営、会員の増強やプログラム実践の方法も、もっと極端な変化をさせてゆかねばならないと考えます。それには多くの困難を伴うでしょうが、出来得る限りの考案と実践を後半の役員会の責務とし、最終的にはより良い飛躍を遂げ、次世代へ繋げてゆきたいと思っております。

一面、今期のテーマ「変化」に対応して、現在活発に活動中の委員会を見、各カウンスルの活動報告を耳にし、訪問したクラブで今までに見られなかった良い部分を発見し、その中に前進や変化が次々と実践されつつあることを頼もしく思います。会員お一人お一人にも、新しい時代に添った新鮮な物事に果敢に挑戦なさり、飛躍を遂げてゆかれますよう願っております。

## The President's Message

### Search for Further Change

The 24th President of Japan Region **Kazuko Izumi**

The New Year has started and the 24th term of Japan Region is entering into the latter half. I am serving as the Region President for the second time. Through the first half of the term, I have been feeling that there is a considerable difference between this term and the 20th term four years ago. For one thing, I somehow feel things have become more complicated this term than before. As you are all aware, I think diversification of the society has a lot to do with this trend. In order to cope with this diversification, I think we should change organizational management, reinforcement of members and ways of program making more drastically. A lot of difficulties lie ahead of us, but the board will try to think about every possible means and try to realize them during the latter half of the term and we eventually hope to achieve good leap forward and hand them to the next generation.

In accordance with the theme of this term "Change", I have been observing committees addressing various activities very lively, receiving councils' reports, and visiting clubs and finding good points which I had not seen before. I expect a great deal from the progress and changes they are making one after another. I am looking forward to showing these achievements to the members. I sincerely hope each members will bravely challenge fresh things along with the new age and make great leaps forward.

## 役員会からのお知らせ

---

### 第24回ITC日本リージョン年次大会開催

2006年7月3日（月）、4日（火）、5日（水）

ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル/パシフィコ横浜

大会テーマ

**MAGMA－内なる力**

MAGMA—the Power Within Us

ITC公式訪問者

**Terrie Baxter**

International President



ITC名誉会員

**高円宮妃久子殿下御講演**

日時：2006年7月5日（水）

御題：バードライフ－その使命と活動

副題：鳥類を通して環境を考える

\* 4日（火）の晩餐会と5日（水）の英語スピーチコンテストにも御臨席です。

### 全員参加のプログラム（7月4日）

ワークショップリーダー

**Terrie Baxter** International President

**Margaret Sutherland** Division IV Vice President

**Wilna Wilkinson** Past International President

# 飛躍するカウンスル

## カウンスル No.8 “全員参加”

カウンスル No.8 は、昨年からの会合が十月の第一回会合と4月のスピーチコンテストの二回のみとなった。大切な会合をクラブ間の交流を高める機会として活かす為、席を島にすることにした。教室のような席の配置では、つい同じクラブどうし固まって、人の背中だけ見て帰ることになり、他クラブにどんな新しい人が居るのか分からない。それでは淋しいので席をばらばらにし、島も指定した。コーディネーターは度々の座席表の訂正にも快く応じて下さった。

しかしやってみると大変で、事前に椅子の数を何度も確認したのに、始まってから椅子を運ぶ人が目撃されたりと予想外のことが起こる。完璧に事を運ぶのは難しい。

さてプログラムの内容は、コミュニケーションの基本、自分の考えを確かな話しことばできちんと伝えることを今一度思い起こす機会にと、全員参加型のワークショップを企画した。講師は、話しことば教育の分野で全国的に幅広く活躍のフリーアナウンサー、山野秀子さん。タイトルは「今求められる『ことばの力』」で、5項目に分けて進められた。以下はほんの一例。

### 1. 挨拶ではじまる人間関係

第一印象は最初の20秒で93パーセント決まるとの事。相手の目を見ながらの挨拶、握手、ハグと進んで、緊張感は一気に消え去り、波のように広がる笑顔、笑顔。和やかさは最後まで続いた。

### 2. 暮らしは「ことば」で成り立っています。

話し方の自己診断で思い当たる箇所をチェック。もう一つの耳を持って自分の声を聞くのは難しいことだが、「はっきり」「ゆっくり」「丁寧に」をいつも心掛けること。



### 3. 美しい会話術

腹式呼吸による発声練習では、椅子に座って両足をまっすぐ前に伸ばしたままでお腹から声を出すというダイエットになる朗読も。(家でやってみてたちまち挫折。誰か続けてる?)

### 4. 会話の心理学

否定語を肯定語に変えると印象が大きく変わる。例えば「八方美人」を「付き合い上手」「社交的」、「図々しい」を「積極的」「大胆」など答えは幾通りもあり得る。「センスがない」には、誰かが「個性的」と答えていた。なるほど、ものは言いたいよう。ひょっとすると「ユニーク」といわれて喜ぶのは早いのか。



最後は、講師の山野先生による相田みつをの詩の朗読に会場は静かに聞き入り、2時間のワークショップは幕を閉じた。

準備の段階では、出席者は90名を超えないだろう、80名以下だと赤字と危惧していたが、予想を大きく上回る114名の申し込みがあり、中には遠く他カウンスルの姫路や名古屋から3名もの方々が来て下さったのがうれしい。

クラブ間の交流も出来、プログラムも直ぐに実生活に役立つ実り多い会合であったと、お褒めの言葉を方々から頂いた。これも全て講師の山野先生をはじめ手伝ってくださった係の方々とお陰様と、この場を借りてお礼申し上げたい。

# 飛躍するカウンスル

## カウンスル No.7 “社会のなかで輝く人へ”

21世紀混迷の時代、我々は身近な家庭から社会全般に到るまで、正しい目的に向け導いてくれるリーダーを求めています。そのような中、I T Cにおいて私達は何を学ぶべきでしょうか。

今期各レベルのテーマは、「自らを高め、そして飛躍しましょう！」(I T C)・「変化 そして 飛躍」(日本リージョン)となっています。このそれぞれのテーマが示すものには、会員の自己改革と積極的な社会参画が含まれていると思います。

カウンスル No.7 の今期テーマ「社会のなかで輝く」ーLeadershipの向上ーの目指すものも共通するところ です。廣田会長の『個々の学びの力を更に高め、視野を広げ、社会へ貢献していく力を養うことが必要である。』という示唆のもと、第1回会合のプログラムを企画しました。

講師に鳥取短期大学学長 山田修平先生をお迎えし、「あなたも参画してみませんかー改革・参画・リーダーシップー」と題して講演をして頂きました。

山田学長は、鳥取県教育委員長、男女共同参画センター運営協議会会長また福祉の分野でも多方面にご活躍され、県内外での講演依頼に多忙を極める方でいらっしゃいます。

『改革にはみなもの、メンバーの参画は必須。そしてリーダーシップがあって始めて実り多い成果が得られる。それぞれのあり方を共に考えてみたい。』との語りかけに始まり、全員参加のワークショップ形式も取り入れての充実した内容となりました。



会員の感想は、[PM理論・改革手法・5段階評価・受容・エンパワーメント等々導入し易い構成に理解が深まった。各自問題意識を持つことが出来効果的だった。内容は有意義で素晴らしく2時間が短く感じられた。「5H」と「家庭教育の3機能」はすぐ応用できる心に残る内容だった。「かますの実験」「心のコップ」等々飽きることなく楽しく学べた。I T Cの本質に沿った企画だった。会員に学習させ、グループ発表までさせてしまう新しい手法に退屈する間もない充実した時間をもてた。聞くだけではなく、一緒に考え、意見を聞き、考えを深めることができた。知識の幅、現場体験の豊富さ共に素晴らしく、いい言葉をたくさんいただいた。山田学長の歯切れ良くユーモアを交えた語り口は解り易く、全体の時間配分もさすがと感じた。今日から実践したい。幸せな気持ちで帰った。最近のヒット企画であった。リージョンレベルでの講演にもよいのでは。]など好評が多く寄せられました。

この講演は、家庭から社会へと拘る中で自己改革の大切さを考えさせ、あらゆる物事に対しての深い理解と新たな気付きを我々皆にもたらすものでした。

最後に、坂村真民の「二度とない人生だから」を力強く朗読され、素晴らしい講演会に相応しい心に響く終演となりました。

後日、「女性がもっともっとエンパワーメントし、それぞれの個性に応じ様々な場で活躍できれば、確実に社会は変わります。I T Cの皆さんに期待するところ大です。」との励ましの言葉をいただきました。

No.7 会員は、社会のなかで輝く人へ大いに飛躍することでしょう。

# 飛躍するカウンスル

## カウンスル No.6 “評価して！あなたも私も裁判員”

私達カウンスル No.6 第1回会合プログラムは、カウンスルテーマを踏まえた知と技が磨けるより質の高いプログラムを目指し企画いたしました。教育に関しては、1年を通して評価をプログラムに組み入れます。

プログラムの進め方として午前中まずリージョン会長から評価の教育を受けました。

午後からのプログラムは、裁判員制度を取り上げました。クラブに持ち帰って、クラブで活かせるように、全員が参加できるようにとプログラムを考えました。



まず、西日本総合法律事務所の中村雅行弁護士から裁判員制度の説明を聴き、つづいて会員による模擬裁判をロールプレイで行いました。フロアでの会員は8名がテーブルごとにつき、各テーブルで裁判官としてのテーブルリーダーが1名、後の7名が裁判員として模擬裁判の判決を決めます。

又、各テーブルに評価者を1名おき、評価者は午前中に受けた教育の評価を踏まえてテーブル内の議論の様子を評価しました。数テーブルが発表し、残りのテーブルでの評価は後日まとめてウェブサイトに掲載しました。

このプログラムの目的は、裁判員制度の概要を知り、その上で情報を論理的に聞き取る力を高め、自分の意見を的確に伝える力を高めることです。

いずれ必ずやって来る裁判員制度に、会員の関心度は高く、裁判員になったときの心構えが出来たという効果はありました。

会合後の特別研修会は、元ITC会員を講師に招いて、マイクの使い方と言葉遊びをテーマに開催しました。スピーチコンテストを控えている時でもあり、マイクの使い方と滑舌のトレーニングは、会員にとって必要であり、役に立ちました。

1日を通して盛りだくさんで、ハードなスケジュールではありましたが、それにもかかわらず参加者が多く、会員にとって有意義な会合となりました。

# 飛躍するカウンスル

## カウンスル No.5 “新しい事への挑戦”

「詩のボクシング」は、ボクシングリングに見立てたリング上で、2人の朗読者が、自作の詩を交互に朗読し、複数の審判が判定を下していく「言葉のスポーツ」です。1997年に楠かつのり氏により考案され一般参加のトーナメントとして全国で行われている「詩のボクシング」を12クラブ対抗で取り上げ白熱した闘いが繰り広げられた。

各クラブより3名の選手と1名のジャッジを選出。朗読ボクサーの表現形式、朗読方法は自由。

- ① 1回戦 3人による3分の団体戦。郡読・輪読・1篇でも複数の詩でも可。自作のもの。
- ② 2回戦 3分の個人戦。1人で朗読をする。自作のもの。
- ③ 3回戦 3分の個人戦。残り2人の内の1人。自作のもの。
- ④ 決勝戦 残った1人による制限時間2分の個人戦（即興詩）。封筒に入った「題」をリング上で開け、その場で即興詩対決。

試合前には考案者の楠先生に「コミュニケーション能力を高める」の教育を受け、準備段階を含めクラブ内、クラブ間において新しい形のコミュニケーションを見つける事ができた。

### 「詩のボクシング」に参加、優勝して

徳島クラブ 新居 曜子

「詩のボクシング」なるものがよく判らなかつたので、まずは10月31日の説明会に出てから・・・とのんびり構えていました。その後何回か会合を持ちましたが、ほとんどお茶とケーキでの雑談。その中で、団体戦は3人でひとつの「ドラマ」にするという基本方針だけは決め、文章を構成しました。立ち稽古は2、3回のみ。それぞれ個性的な三人なので、自分のパートは自己流にアレンジ、またアレンジ・・・稽古のたびに少しずつ変化していきます。しかし、度重なる雑談がお互いの理解を深め連帯感を強くしてくれたせいか、本番では3人の息がぴったり。個人戦はひとりひとりが責任を持つということにし、とにかく1回戦に賭けていたので、それをクリアした時が一番感激しました。優勝し壇上で賞状をいただいた時は「本当に？」という感じでしたが、3人にとって2005年のいい思い出になったと、今になってお互いの健闘をたたえ合っております。

### 「詩のボクシング」をジャッジして

大阪クラブ 辻本 初枝

はじめてお目にかかった「詩のボクシング」という格闘技。こんなに愉しい知的な言葉のゲームは、そんなに無いような気がする。選手の多才・多彩ぶりにも驚いた。夫々のチームが独自のスタイルを考え、取り上げたテーマも多岐にわたり、また、随所にアイデアのよさ、チームワークのよさが見られ、パフォーマンスもよろしく十分に口と耳を愉しませてくれた。中でも、ニューヨークの9.11を題材とした日本の宮司の衣装で祈りを捧げたことを詠った詩が印象的であった。声の大きさ、抑揚などは、日ごろの「1分間スピーチ」「リサーチスピーチ」「スピーチコンテスト」などITCで、トレーニングを積んだ成果が各チームよく現れており、ここに凝縮されているかに感じた。タイムの切り方、大きなジェスチャーでの采配などレフェリーが大会を盛り上げてくださり大成功であった。ジャッジは、とてもいい経験をした。興味と適度の緊張感があり、判定への責任を含めて充実した時間だった。



当日の様子はカウンスルNo.5 ホームページをご覧ください。

カウンスル No.5 プログラム委員長 椎名 真子

# 飛躍するカウンスル

## カウンスル No.4 “ワークショップ「企画の立て方」-もし貴がワークショップリーダーになったら-”

昨年の11月22日（火）広島ガーデンパレスにおいて第一回会合が行われました。近本節子会長の年間テーマ「改革への新たな挑戦」に沿ってビジネスの短縮を計りました。つまり各委員会報告は当日必要な報告以外は、前もって各クラブに送付しておきました。従ってプログラムの時間を160分（休憩含む）取る事ができたのです。

第一回の会合テーマは「組み立てる力」、公式訪問者日本リージョン大野三恵子第二副会長にワークショップ「企画の立て方」をして頂きました。

まず「ワークショップとは何か。どのようにして行うのか。そのための企画の立て方」について大野講師が40分説明されました。とてもわかりやすい説明に会員は熱心にメモをとっておりました。



その後、15分間の休憩をはさんで8種類のテーマごとに11テーブルでミニワークショップを（30分）行いました。

テーマは ①会員増加のアイディア ②魅力のあるクラブとは（会員保持）③広報（地域社会に広める）④会則に強くなる方法 ⑤カウンスル周年企画 ⑥クラブ周年企画 ⑦・⑧カウンスル、クラブの役員就任式

各テーブルリーダーには前もってテーマを依頼し打ち合わせはいたしました。準備もすべてリーダーにまかせました。各リーダーはテーマを時間内に、自分の選んだ方法で（例えば資料収集、現状分析にはバズセッション プレンストーミング、一人づつ意見を聞くなど）テーブル毎にとりあげていきます。

中には、休憩時間も熱心に話し合いに燃えたテーブルもあり、30分のミニワークショップは活発なグループ討議であったという間に過ぎました。

ベルが鳴り、大野講師より【企画書を作りましょう】との呼びかけがあり15分で企画書の作成をしました。

休憩後、各テーブルリーダーからの発表があり、まとめのコメントを大野講師から受けました。出来上がった企画書の発表は、大野講師の誘導に従ってリーダーは自分たちの企画を発表し、参加者も発表をききながら目が輝いていました。



最後に大野講師の評価は下記の通りです。

1. 今日のワークショップをした一番のメリットはカウンスル No.4 の中で違ったクラブの人たちが一つのテーブル毎に、お互いしっかりと情報交換できた事。
2. 企画書をつくりあげていくプロセスが、ITCの学習では大切です。想像した以上に緻密に企画書をつくりあげられたのは、カウンスル No.4 会員の例会でのトレーニングが、知らず知らずに身についた効果ではないかとの事。

会合後の、会員からの評価（アンケート）からも有意義なワークショップと情報交換に対する満足度は高かったと確信しております。後日プログラム委員会で反省会を持ちました。まず第一に会合が年3回になったので、魅力のあるプログラムは重要条件です。プログラム作成に当たり、綿密な計画を立てて会員の要望に答える努力が、いかに大切であるかを、改めて確認いたしました。そして第二は本当に会員の成果に貢献できたのか、カウンスル会合で学んだことがクラブ例会で生かされることを期待します。

# 飛躍するカウンスル

## カウンスル No.3 “柔軟な発想と表現方法”

柔軟な発想と表現方法を磨くというプログラムの方針に沿い、第1回は、企画書作り「あなたも起業家」というプログラムとし、特に、柔軟な発想をだし合うところに焦点を当てるために、「あなたも起業家」のイメージをどんどん膨らませていきました。そして、纏めたものを、「企画書」とし、口頭で発表し、起業する内容も、今、自分自身が出来る範囲の起業ではなく、将来を見据えたものであり、未来（近未来）に向けてのメッセージであり、またはビジョンでありと、自由な発想によるアイデアを会員から引き出し、とかく堅くなりがちな考え方、物の捉え方を、自由な発想へと導く事に重点を当てていきました。



形式は、各テーブル（13テーブル）によるディスカッションで、テーブルリーダーが事前に用意をした「起業」について肉付けをしていきました。また、起業するばかりでなく、自分自身が投資家となって、どこの起業に投資をするかという、「起業家」と「投資家」として二面性を持ったプログラムとし、全員参加型のプログラムを目指しました。



発表は、プログラムリーダーが進行をし、各テーブル発表の後、質問などが飛び交いました。「人材派遣ITC」「スピーチメソッド伝達塾」「街づくり」「生き方プロデュース」「ITC博物館」「男性のための料理学校」「未来型エステ」「私立小学校」「自然公園」「結婚コンサルタント」「たこ焼やinワイキキ」「男性シニア向けファッション美学」「離婚コンサルタント」いうまでもなく盛りだくさんで、アイデア一杯の起業となりました。

教育では、「パワートーク」を取り上げ、第1回と3回会合で、実践を含めて行う事としました。先ず、基本である、声の出し方、ボディランゲージ、主題の設定の説明、また、話し相手にあたえる影響力を100%とすると、言葉は7%、声は38%、積極的なボディランゲージは55%。すべての人が話を聞くときには先ず言葉を聞くのではなく相手を見るという事、スピーチをする側は、話をする前からもう相手に色々な印象で呼びかけているという事なども含めて、実践を行いました。実践は、教育委員会精鋭2名によるスピーチとし、同じ内容のスピーチを、スピーチを始める前の様子、声の出し方、大きさ、スピード、表情、そして服装にも気をつけて二通りに演じました。同じ内容のスピーチでありながら、ハッキリ二通りに表現した事によって、「こんなに違うスピーチ」になったという事を体感して頂けたと思います。

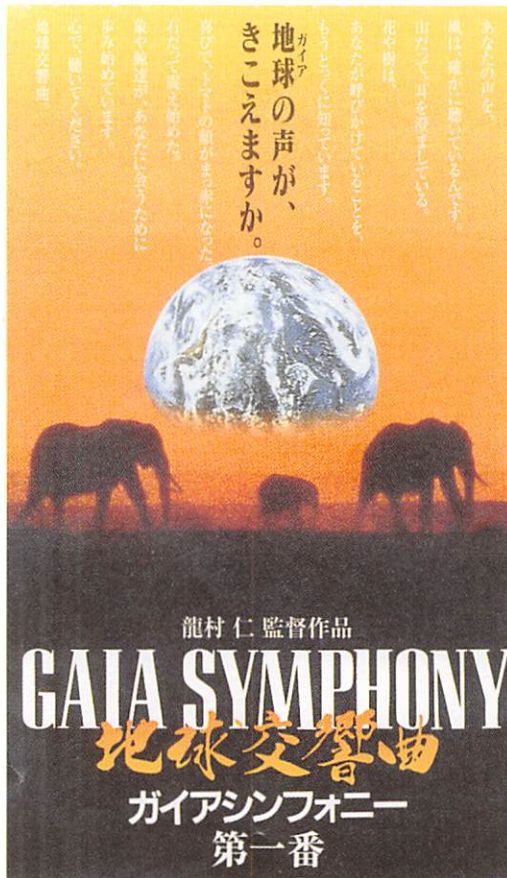
第2回会合は「スピーチコンテスト」第3回会合は「講演とワークショップ」講演は「頭がいい人、悪い人の話し方」のベストセラー作家「樋口 裕一氏」をお招きします。実りあるプログラム-教育を目指していきたいと思います。



## カウンスル No.2 “交流そして活性化”

カウンスル No.2 の今期の活動方針「活気に満ち、現話題性のある会合」を目標に計画を進めてきました。第1回会合は、その初めとしてのプログラム、映画鑑賞を企画致しました。

昨年のリージョン大会に於いての特別講演、龍村 仁監督の「地球と共に生きる智慧」を聴講し、その内容のなかに出てきた映画「ガイアシンフォニー①」の話に、No.2の会員の多くが感銘を受け、是非見たいと要望が強かったものでした。



上映会は、カウンスルのプログラムでは初めての試み。会場の準備、出席者数の確保など、たくさん問題も出てきましたが、会員の適切な判断と大きな協力、ホテル側のご理解とご協力で、スムーズに準備も進み実現することが出来ました。

また、会員の呼びかけで、多くの一般ゲストをお迎えすることができました。“人間と自然は一体であり、地球をとりまく環境は共生共存している”との内容の映画に、とても心に残る感動の映画だった。特に、自然を受け入れ生きる象の姿は印象的でした。等々、たくさんのご感想を頂きました。

また、今回は、座席を自由席として、形にとらわれず、自由に和やかな雰囲気楽しんで頂けるようにしました。

他カウンスルの皆様、一般ゲストの方々、そしてNo.2会員それぞれが、自然なかたちでの交流が出来たと感じています。

各クラブ共に会員の減少は悩みの一つです。新入会員の導入はクラブの活性化に繋がります。今回はじめて出席くださったゲストの皆様が、今後これを機会にITC活動を理解され、興味を持ってくださることを期待し、ひいては入会に繋がりますよう、それぞれの立場で鋭意努力して行きたいと思っています。

# 飛躍するカウンスル

## カウンスル No.1 “チャンスを活かそう”

カウンスル No.1 第1回会合のプログラムは、ITCフェローである泉和子日本リージョン会長を講師としてお迎えし、ワークショップ「パワートーク ITC」を実施いたしました。パワートーク ITCについては、それまでは存在は知っていても、具体的な内容については認知度が低く、実際にクラブで積極的に利用することはあまりありませんでした。

ウイルナ ウイルキンソン前 ITC 国際会長によるリージョン大会でのパワートーク ITC のワークショップに参加し、是非カウンスルでもこのワークショップを期の始めに実施し、今後のプログラムに活かして頂きたいとの願いをこめて ITC フェローの泉会長にお願いいたしました。



新入会員からベテランの会員まで幅広いレベルの会員にとって興味深く、しかもあくまで基本をベースにという大変欲張りな注文を出しましたにもかかわらず、完璧な準備での素晴らしいワークショップでした。トレーニングの基本として、イメージ、声の使い方、ボディランゲージ。良いコミュニケーションを取る8つのテクニック。なぜ私たちは話しをするのでしょうか？のサブタイトルに沿って会員はパワーポイントと大変わかり易い資料を見ながら、積極的に様々な形で参加し楽しく実り多い2時間を過ごしました。特に同じ童話を、それぞれ悲しそうに読んだり、怒って読んだりすることで同じ文章が全く違ったものを感じられる部分では大いに盛り上がり具体的な形で技術を習得できたと思います。

128名の参加者という大人数でのワークショップにもかかわらず全員が参加したという意識が持てたことにワークショップリーダーの力量を大いに感じました。日本中を駆け巡って任務を果たしながら、完璧なワークショップのお手本を示してくださった泉会長に深く感謝し、又当日の出席者全員がパワートーク ITC の日本語版を購入できるように間に合わせてくださった皆様に感謝申し上げます。

一月の教育研修会では、「クラブホームページ作成について」と「生き生きプログラム」を実施いたします。各クラブ選りすぐりのプログラムの作成過程を紹介していただく「生き生きプログラム」の中で、導入として、パワートーク ITC を使ったプログラムをいくつか紹介する予定です。第一回会合のワークショップ、教育研修というチャンスを活かして、クラブでも会員の知恵と工夫でパワートーク ITC という基本となるコミュニケーションツールを活用し、さらに大きく変身し、独自の発展を遂げ、飛躍することと確信しております。今期はプログラム作成段階から他クラブとの交流を促進する「オープンプログラム」に取り組んでおりますが、今後パワートーク ITC を他クラブがどのように活用しているかを知る機会を設けていただくことを来期に提案して未来に繋げたいと思っております。

## 第24期 (2005～2006) 記念例会・式典案内

(開催予定日順)

カウンスル	記念例会・式典	日	時	会	場
<hr/>					
ク ラ ブ	記念例会・式典	日	時	会	場
<hr/>					
瀬戸内クラブ (No.4)	15周年記念例会	2006年 3月10日 (金)		内輪記念例会	
南大阪クラブ (No.5)	20周年記念例会	2006年 3月26日 (日) ～27日 (月)		内輪記念例会	
葵 クラブ (No.1)	30周年記念例会	2006年 3月29日 (水)		ウエスティンナゴヤキャッスル	
	プログラム： 講 演 「歌舞伎よもやま話」 講師：5代目 中村 時蔵 丈				
	: 30周年によせて				
<hr/>					
関 西クラブ (No.3)	30周年記念例会	2006年 4月12日 (水) ～13日 (水)		内輪記念例会	
舞 子クラブ (No.3)	20周年特別例会	2006年 4月17日 (月)		シーサイドホテル舞子ビラ神戸	
	プログラム： 講 演 「リーダーシップとコミュニケーション」 講師：平尾 誠二 氏 神戸製鋼ラグビー部ゼネラルマネージャー 元ラグビー日本代表監督				
	: エンターテインメント				
<hr/>					
東 山クラブ (No.1)	20周年記念例会	2006年 5月18日 (木)		名古屋観光ホテル	
福 山クラブ (No.4)	20周年記念例会	2006年 6月16日 (金)		福山ニューキャッスルホテル	
浜 松クラブ (No.1)	20周年記念例会	2006年 6月25日 (日)		浜松名鉄ホテル	
枚 方クラブ (No.6)	10周年記念例会	2006年 7月14日 (金)		守口ロイヤルパインズホテル	

※ 次号の発行までに開催予定のクラブについては詳細を記載しました。

### 無所属クラブ例会案内

クラブ名 認証番号	正会員数 使用言語	テ - マ	会長氏名	曜日・時間 例 会 場
松 山 Matsuyama 3581	8 英 語	Feel-good Fight	奥 村 紀 子	第 2 / (4)水曜日 13:30～ 愛媛県国際交流センター

# 第24回日本リージョン年次大会ご案内

*Invitation to the 24th Japan Region Annual Conference*

大会テーマ：“MAGMA—内なる力”

開催日：2006年7月3日（月）・4日（火）・5日（水）

場 所：ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル、パシフィコ横浜



大会コーディネーター 岩 佐 圭 子  
コ・コーディネーター 岸 真 智 子  
山 内 昌 子

第24回日本リージョン年次大会は、Terrie Baxter ITC国際会長を公式訪問者としてお迎えし、ITC国際名誉会員高円宮妃久子殿下ご臨席の下に、横浜みなとみらいで開催致します。大会テーマ、「MAGMA—内なる力」は、中から湧き出る私達の力を大切にしていこうという今大会の私達の目標を表わしています。大会テーマとともに、日本リージョン今期のテーマ、「変化そして飛躍」が、大会の事務会議の運び、プログラムの構成、晚餐会の趣向にも反映されますよう準備委員会一同一生懸命準備を進めています。歴史の面影と未来の躍進が織りなす世界の港、横浜で初めて開催される日本リージョン大会に是非ご出席下さいますよう心からお待ち申し上げます。

## Invitation to the 24th Japan Region Annual Conference

Conference Theme: “MAGMA - the Power Within Us”

Date: July 3rd, 4th, and 5th, 2006

Place: Intercontinental The Grand Yokohama, Pacifico Yokohama

Coordinator Keiko Iwasa  
Co-Coordinator Machiko Kishi, Shoko Yamanouchi

We welcome you to the 24th Japan Region Annual Conference which will be held at Minato Mirai Yokohama with the attendance of Her Imperial Highness Princess Takamado, ITC International Honorary Member, and ITC International President, Terrie Baxter, as official visitor. The theme of the conference, “MAGMA - the Power Within Us” representing our goal should nourish the power within us and expand it to the further positive development of ITC. We, the conference coordinators, are working hard so that not only the theme of the conference but the theme of Japan Region, “Change and Leap” will also be reflected in business meeting procedures, program schedules and banquet ideas. Yokohama, an international port city rich with historical heritage and future dynamics, hosts ITC Japan Region Conference for the first time and we look forward to seeing you all there in July.

# 第24回日本リージョン年次大会プログラム予定表

ITC Japan Region 24th Annual Conference Program Plan

ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル パシフィコ横浜

INTERCONTINENTAL THE GRAND YOKOHAMA  
PACIFICO YOKOHAMA

## 7月3日(月) July 3rd (Mon.)

11:30~12:00	受付	Registration
13:00~14:30	カウンスル運営研修会	Council Management Training
14:30~16:00	T P P	Training Power Pack

## 7月4日(火) July 4th (Tues.)

08:30~09:45	登録受付	Registration
09:00~09:45	派遣員への説明	Briefing for Delegates
10:00~10:40	入場 開会式	Opening Ceremony
10:50~12:00	ビジネスセッション・選挙	Business & Election
12:10~13:10	昼 食	Luncheon
13:10~15:10	スピーチコンテスト(日本語)	Speech Contest (Japanese)
15:10	選挙結果発表(準備)	Election Report
15:15~16:15	講演	Lecture
16:15~17:15	全員参加のプログラム	Program with all attendances
18:00~18:30	晩餐会受付	Banquet Registration
18:30	晩餐会開会	Opening
18:50~20:15	晩 餐(立食形式)	Banquet (Buffet)
20:15~20:45	余興・歓談 終了	Entertainment & Socializing

## 7月5日(水) July 5th (Wed.)

08:30~09:00	登録受付	Registration
09:00~10:00	ビジネスセッション	Business Session
10:15~11:15	講演	Lecture
11:30~12:30	昼 食	Luncheon
12:30~14:30	スピーチコンテスト(英語)	Speech Contest (English)
14:35~15:05	役員就任式	Installation
15:05~15:25	表彰	Awards
15:25~16:00	報告・案内	Reports
16:00	閉 会	Adjournment
16:30~18:30	評価 RMT	Evaluation & Region Management Training

- \* TPPにはご希望があればCMT参加者以外の会員も出席できます。
- \* 時間、内容に変更が生ずる場合があります。
- \* 変更がある場合は「会報3号」にてお知らせいたします。

## 第24回日本リージョン年次大会プログラムへのお誘い

プログラム・教育委員長 佐山昌子

年間テーマ「変化そして飛躍」、大会テーマ「MAGMAー内なる力ー」を掲げ、第24回 I T C 日本リージョン年次大会は、初めて港 横浜での開催です。

プログラム委員会は、「年次大会の形態変化」という今期のリージョン短期目標に従って、これまでの幾つかの教育セッションを2つの主要講演に絞り、日英スピーチコンテストは従来とは逆の日程にして形態に変化を持たせました。

このたび I T C 国際名誉会員高円宮妃久子殿下のご臨席が叶い、ご講演を賜ることになりました。同時に、作家C.W.ニコル氏の自然保護環境問題についてのご講演もきっとお楽しみ頂けると思います。

開催期間を3日間に戻し、時間的にゆとりのある大会を計画しました。

次に「飛躍」としては、来日予定の現職の I T C 国際役員2名と直前国際会長によるフロアー全員参加のプログラムです。例年のように1つのワークショップしか参加できないのではなく、FITCの称号をもつ国際役員方の3つのワークショップを、一同に会して参加できる滅多にないチャンスです。

どんな方法でワークショップが進められてゆくのか、その変化をご期待ください！

今期は、教育セッションの申し込みの必要もありません。

年次大会のプログラムを存分にお楽しみ下さい。

### 講 演

2006年7月4日(火) 15:15~16:15



#### C. W. ニコル 氏 「森から未来をみる」

豊かな水をはぐくみ、動物や植物に命を与える森。

今、日本の森は、開発の荒波にのまれ、大きく傷つけられ破壊されています。

日本のブナの原生林の荘厳さと美しさに魅せられ、長野県黒姫に居を定め、自ら荒れた森を購入し、生態系の復活、森の再生に力を注いでおられる氏。日本を愛し、日本の自然を慈しみ、日本の森や里山の再生に力をつくされる氏のお話を伺い、私たちも、もう一度日本の自然を見つめ直してみませんか。

- <プロフィール>
- 1940年7月17日 英国ウェールズ生まれ
  - 1962年 空手修行のため来日
  - 1980年 日本定住を決意し長野県黒姫に居を定め、執筆活動を行う
  - 1995年 日本国籍を取得
  - 2002年 C.W.ニコル・アフターの森財団を設立、理事長に就任
  - 2005年 英国名誉大英勲章(MBE)を受章

## 国際役員による会員全体参加のワークショップ

公式訪問者 Terrie Baxter 国際会長、Margaret Sutherland Div. IV 副会長、Wilna Wilkinson 直前国際会長の3名のワークショップリーダーにより「教育」をテーマにそれぞれのミニワークショップが展開されます。お国柄の違いや教育環境からくるお考えはとても興味があります。また、リーダーと会員との意見交換がどんな形式で進行するのでしょうか、楽しみの一つです。

3名のワークショップリーダーに以下の同じ質問にお答え頂きました。

- ① ITC歴 ② 所属クラブの現状 ③ 興味や趣味 ④ 最近幸せに感じたこと



### Terrie Baxter

- ① ITC歴22年（1985年2月入会）
- ② Wollong Communicators [Div.IV Australian Region, ITC New South Wales (Council 8)] に所属。クラブ会員数は現在10名。約2年間の活動休止後2005年4月に2名の継続会員と8名の新入会員で活動再開。クラブの今期の目標は会員数を20名にすること。
- ③ ゴルフ。今年中旬迄に現在25のハンデイを20以下にするよう努力中。
- ④ 香港在住の娘夫婦と子供達がクリスマス休暇にオーストラリアを訪ねて3週間滞在したこと。普段離れている家族と過ごすことは幸せです。



### Margaret Sutherland

- ① 約24年
- ② Melbourne 転勤に伴い Geelong Communicators に入会 Tasmania と Victoria を往復し現在の Launceston Communicators (Australian Region) と重複会員になることになりました。このクラブは会員数9名。会員の便宜を図り昼間のクラブもスタートするところです。私は片道2時間かけて例会に出席しています。
- ③/④ シドニーで家族と過ごしたクリスマスは大変幸せに感じました。2月にはトロントから甥の家族が訪ねて来るのを楽しみにしています。



### Wilna Wilkinson

- ① 約23年
- ② Rovers Club, Great Britain の名誉会員。Rovers Club は Cyber で年2度 Region Conference と Club Training Weekend で会員は集まるユニークなクラブ。Rover Meeting Document で情報交換する。
- ③/④ 南アフリカ出身、イギリス在住という多文化的背景は多種の文化グループ特有の需要を理解するばかりでなく異文化・言語を評価することに大変役立っています。



横浜は近代日本の海外に対する窓口として歴史を積み、発展をつづけてきました。その横浜市のなかであって、今回の会場になる「みなとみらい21地区」は昔の横浜～新橋間に初めて鉄道が開通した時の桜木町駅の海側が開発された場所です。東京の渋谷から元町までを繋ぐみなとみらい線も開通し、新たな街づくりがすすめられてきました。観光やショッピング、食事そして知的好奇心を満たす場所もさまざまにあります。

異国情緒あふれる街、♪ブルーライトヨコハマ♪を是非お楽しみ頂きたいと思います。

## 1. 散策コース（徒歩）♪浜風に吹かれてホテルより歩いてヨコハマを感じたい方に♪

- ☆ 横浜ランドマークタワー69F展望フロア～帆船日本丸～横浜マリタイムミュージアム～自動車道～横浜ワールドポーターズ～赤レンガ倉庫～山下臨港線プロムナード～大棧橋国際客船ターミナル～山下公園～氷川丸～「元町・中華街」駅。  
全行程およそ60分。どこでやめても、どこからはじめてもOKです。



- ☆ 港の見える丘公園（元町・中華街駅下車）～港の見える丘公園～大仏次郎記念館～横浜外国人墓地～山手資料館～エリスマン邸～ベリックホール～フェリス女学院～汐汲坂～元町商店街～「元町・中華街」駅。全行程およそ30分

## 2. ショッピングコース ♪お買い物大好きの方は迷っちゃう！

- ☆ 元町 — 見て、のぞいて！歩くだけ！で『ハマッ子』気分になれるワンランク上のショッピングストリート。
- ☆ みなとみらい21地区 — 地下3Fに「みなとみらい」駅のあるビル。ショップやレストランをはじめ、あらゆる施設が集結しています。赤レンガ倉庫街も楽しい所です。

## 3. 好奇心コース ♪なんにでも興味がある方へ、こんなコースはいかが？

- ☆ 横浜市美術館（徒歩2分）（木、祝翌=休み）
- ☆ 中華街
- ☆ 外交官の家～ブラフ18番館（山手地区）
- ☆ マリーンシャトル コース（観光船）、大棧橋  
ポートサービス予約センター

TEL 045-671-7719 <http://www.yokohama-cruising.jp>



\*今回はツアーはありませんが、みなとみらい21地区、中華街、山手地区などのマップを用意してお待ちしております。

\*お分かりにならない時はどうぞ観光・インフォメーションのデスクへお尋ねください。

観光・インフォメーション委員長 海瀬 静

TEL/FAX 03-3381-3651

# 第24回日本リージョ ン年次大会申込要領

## ■共通要領

### \* 会員は

1. 次ページ「大会登録・食事及び宿泊申込書」に必要事項を記入してクラブ会計に提出して下さい。
2. 「申込書」の役職名は、リージョ ン役員、リージョ ン常任委員長、リージョ ン特別委員長、リージョ ン元会長、各レベル会長、リージョ ン派遣員、派遣員代理の方々のみ記入してください。
3. 重複会員は I T C 会費を納めているクラブから登録して下さい。

### \* クラブ会計は

1. CLOを通じて「大会申込手順」及び「登録集計表(会員用、ゲスト用)」が、登録委員長から送信されますので、「申込手順」に従い「集計表」に必要事項を記入し**2006年4月15日(土)**迄に指定された宛先にお送り下さい。(次ページの「申込書」はクラブ会計が保管して下さい。)。  
キャンセルや追加等の変更締切日は**2006年5月31日(水)**です。
2. 登録申込金は登録後2006年6月5日(月)～9日(金)の間に大会会計へ送金して下さい。

## ■登録および食事申込(クラブ会計への提出)

1. 晩餐会のみ出席の方も、ゲストを除き登録費が必要です。
2. 欠席の方(賜暇会員を含む)は、協力金をお願いします。
3. 申込書は代金を添えて、各クラブ所定期限までに、クラブ会計へ提出して下さい。
4. 取り消しや追加等の変更は速やかにクラブ会計へ申し出てください。  
尚、2006年5月31日(水)以降の取り消しは返金できません。

## ■ホテル宿泊申込(クラブ会計への提出)

ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル

〒220-8522 横浜市西区みなとみらい1-1-1 Tel: 045-223-2222 Fax: 045-221-0650

URL: <http://www.interconti.co.jp>

部屋タイプ(全室ツインルーム)	料金(1人分)	備 考
T 1 シングルユース(1人使用)	21,000円	・宿泊料金は朝食・税サービス料込 ・チェックイン:午後 2:00 (但し7月4日は午後 3:00) ・チェックアウト:午前 11:00
T 2 ツインユース(2人使用)	11,550円	
T 3 トリプルユース(3人使用)	10,500円	

1. ホテル名、宿泊費は上記の通りです。  
宿泊費のお支払いは、各自チェックアウト時をお願いします。
2. 2006年4月15日(土)に申込を終えた後、5月31日(水)までの変更(キャンセル、追加等)はクラブ会計へ、それ以後の変更は宿泊委員長に連絡して下さい。
3. キャンセル料は、9日前から前々日までは10%、前日20%、当日80%、不泊100%となります。
4. 部屋タイプは上記記載の(アルファベット+数字)記号 をご記入下さい。

大会 会計 桜井 慶子(東京クラブ)      登録委員長 小泉千恵子(盛岡クラブ)  
食事委員長 藤原 雅子(柏クラブ)      宿泊委員長 白垣 駿一(サンデークラブ)

# 第24回日本リージュン年次大会準備委員会名簿

2006年7月3日(月) 4日(火) 5日(水)

大会コーディネーター 岩佐 圭子(東京)

コ・コーディネーター 岸 真智子(東京)

コ・コーディネーター 山内 昌子(東京)

委員会	委員長(クラブ)	委員(クラブ)
大会会計	桜井 慶子(東京)	浅井 正子(東京)
登録	小泉千恵子(盛岡)	大沢 諄子(盛岡)
食事	藤原 雅子(柏)	秋山加代子(東京) 加藤 泰子(青山) 中野 洋子(柏) 太田 和代(千葉) 大須賀原子(東葛)
宿泊	白垣 駿一(サンデー)	大島美代子(サンデー)
キット	金澤 佐恵(サンデー)	江端真理子(サンデー)
会場備品	嶋田 凱子(東京外协)	水野 玲子(東京) 守田 幸子(東京) 田村 純子(東京) 近藤久美子(東京外协) 八尾 和子(東京外协)
儀典	小林 令(東京)	葛谷美紀子(名城) 新城久美子(名城) 渡辺 圭子(東京) 曾根 悦子(千葉)
名札・リボン	三枝 道子(アリア千葉)	舟橋美根子(アリア千葉) 石井 公美(アリア千葉) 田中真紀子(アリア千葉)
VIP接待	柘植 法子(筑波)	河原真治子(葵) 岩國 欽子(出雲) 松下 ゑん(東京) 佐野千賀子(東京) 阿部 玲子(柏) 田久保節子(千葉) 小菅あけみ(サンデー) 善野瑠璃子(東京外协)
ページ	金子 維美(千葉)	橋爪 明子(東京) 金子 佳子(東京) 目羅てる子(東京) 宮崎ひろ子(柏) 白石由美子(柏) 松岡 美保(東葛) 根岸 千代(東葛) 池田美智恵(彩玉) 富山 眞也(東京外协) 山本 陽子(東京外协) * リージュン会長担当……………中野 知子(奈良)
写真	増井美恵子(彩玉)	白砂 文子(東京) 林 栄子(彩玉) 大屋 奈々(東京外协)
広報	今井千代子(青山)	遠藤万寿美(青山) 野村 郁子(青山)
観光・インフォメーション	海瀬 静(横浜)	河村 慶子(横浜) 仁木 恵子(横浜)
受付	山田 久子(韭崎)	川嶋 和枝(東京) 三村 典子(東京) 岡本 節子(東京) 佐山 純子(東京) 関 稔子(東京) 島田富美子(東京) 寺尾恵美子(東京) 広島 伸枝(韭崎) 鳥谷まゆみ(韭崎) 小松万知代(韭崎) 大塚 千秋(韭崎) 高野 秀代(韭崎) 山口久美子(韭崎) 永井 真澄(彩玉)
エンターテイメント	澤登 芙蓉(横浜)	稲葉由利子(名城) 堀江 祐子(東京) 志摩 淳子(横浜)



### リージョン役員会よりパンフレット冊子完成のお知らせ

かねてより製作中でありました、ITC日本リージョンの冊子形パンフレットが、広報委員会の手によりこの度完成致しました。

この制作費用は、今期の役員会の承認により、日本リージョン基金より拠出し、カウンスル、クラブ、委員会へ一冊ずつ無料配布した後、残余分は事務局にて一部300円で販売しております。

ITCの機構から目的、トレーニングシステムやプログラムのこと、創設の歴史などを日英両語で分かりやすく記載した内容は、外部講師の依頼や外部への広報など、又新入会員のためにも役立つことと思います。又、ここ数年は続けて使用できるよう、記載の数字は概算を挿入しております。今期のテーマ「変化と飛躍」が形になって現れたこのパンフレットを、存分に有効にご活用下さいませよう、ここに完成のお知らせを致します。

### ブリスベン世界大会参加促進特別委員会より

#### ブリスベン — 私たちのディビジョン、私たちの世界大会！

日本リージョン会員の皆様、2007年7月オーストラリア・ブリスベンで開催されるITC世界大会へ是非ご参加下さい！

私たち日本リージョンはディビジョンIVに属しています。そして、日本リージョン会員数はディビジョンIV会員数の4分の3を占めていることをご存知ですか？

日本リージョンがホストリージョンを務めた1999年神戸での世界大会が大盛会であったように、再びディビジョンIVで開催される世界大会に多くの日本リージョン会員が参加して世界大会を再び大盛会に導きましょう！

ジェーンハリスコーディネーターはじめコーディネーティング委員会は、世界大会が日本リージョン会員にとって心地良く魅力的なものになるようあらゆるアイデアを採り入れたいと言っています。

皆様は世界大会に何を望み、何を期待し、どのようなアイデアをお持ちでしょうか？

ブリスベン世界大会参加促進委員会へお知らせ下さい。ひとりでも多くの日本リージョン会員が世界大会に参加できますよう、委員会は皆様をサポートいたします。

さあ、あなたも2007年はオーストラリア・ブリスベン行きをご決断下さい！

ブリスベン世界大会参加促進委員長 イソット・アン

### 増設委員会より

今期、日本リージョンではカウンスル No.4 東広島市で増設の芽があります。ひろしまクラブが核となって活動しています。

増設方針は会員の意見を尊重して時代の変化に対応したクラブの設立です。2月には広島大学キャンパス内で説明会を開催致しました。生まれました芽はまだまだ硬くはありますが No.4 役員会と会員の協力で1歩1歩成長しています。またカウンスル No.4 増設委員会は慎重に時間をかけて芽が実を結ぶようと願っております。東広島市は文化の薫り高い地区です。

会員の皆様、知人、友人を是非カウンスル No.4 増設委員会にご紹介下さいませ。

皆様のご協力をお願い致します。

リージョン増設委員長 佐伯 圭子

連絡先： カウンスル No.4 増設委員長 高木 彬子 (ひろしまクラブ)

Tel/Fax : 082-922-8666

## 教育研究委員会より訂正

第1号掲載のリージョン教育研究委員会発行の「教育手引き」④評価は都合により取りやめ、かねてより準備致しておりました「ディベート 基本とヴァリエーション」を④とし、①クラブ例会 ②会則改正の手順 クラブレベル ③ワークショップリーダーを1枚のCDで発行致しました。ここに訂正をさせて戴きます。

教育研究委員長 山崎 眞知

## 訂正

### 第1号カウンスル・クラブ例会案内のページの訂正

	訂正箇所	㊦	㊧
No.2 神戸クラブ	テーマ	“Bon Voyage”	“Bon Yoyage”
	会長E-mail:	fk-jackayo999@kcc.zaq.ne.jp	jackayo@kcc.zaq.ne.jp
No.3 関西クラブ	会長名	國米千世子	國米千代子
No.8 東京クラブ	テーマ	今の自分	今日の自分
筑波クラブ	テーマ	Make Your	Wake Your
千葉クラブ	テーマ	The More	The Wore
青山クラブ	例会場	東京ウィメンズプラザ	東京ウメインズプラザ
柏クラブ	例会場	柏市勤労会館会議室	柏市勤労公民館
	テーマ	Era	Fra
サンデークラブ	例会場	柏市勤労会館	柏市勤労公民館
東葛クラブ	例会場	柏市勤労会館	柏市勤労公民館
横浜クラブ	テーマ	生涯一学生	生涯一学年
	会長名	野々垣淳子	野野垣淳子

\* 皆様には大変ご迷惑をかけましたことをここに詫言申し上げます。

## 編集後記

第24期リージョン会報第2号をお届けいたします。日頃、他カウンスルの活動に参加することは容易ではありません。そこで、今期リージョン編集では全カウンスルの第1回会合プログラムを掲載し、“飛躍するカウンスル”としてご紹介致しました。尚、掲載順をNo.8からNo.1の順に変化させております。

ご意見、ご助言等は下記メンバーまで。

編集者：加藤啓子

スタッフ：若林裕子 小田和子 高城良子

I T C日本リージョン会報 Vol.24/No.2  
編集・発行：第24期 I T C日本リージョン  
印刷：上野タイプ印刷(株)



## ITC Pledge

ITC 宣誓

We, as members of International Training in Communication, hereby pledge to improve our communication and leadership skills, in order to achieve greater understanding throughout the world.

我々国際トレーニング イン コミュニケーションのメンバーは、世界中の相互理解促進のために、コミュニケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。

2005—2006

## ITC 日本リージョン 声明文

*Mission Statement of Japan Region*

ITC 日本リージョンの使命は、ITC の目的とするコミュニケーション技術、組織運営の技術を習得する機会を会員に提供してリーダーシップをそなえた社会人を養成し社会に貢献することにある。

The mission of ITC Japan Region is to present the members opportunities for quality training in communication and leadership skills which are the purposes of International Training in Communication and benefit the society by providing mature individuals.